

明治維新一五〇年 徳地歴史講座

土佐藩士

中岡慎太郎と徳地

維新を目前にした慶応三年十一月十五日、京都近江屋の二階で突然の刺客に中岡慎太郎は暗殺されました。彼は「禁門の変」（元治元年七月）後、激しく対立する薩長の和解を探って全国を走ります。坂本龍馬が仲を取り持ったといわれる薩長同盟は、実は中岡慎太郎の陰の努力があったって成立したのもともいわれます。この土佐の幕末風雲児が

なぜ徳地とつながるのでしょうか。
彼は徳地でなにをみるのでしょうか。

元治元年十月、奇兵隊・膺懲隊は徳地に転陣をしてきます。急変する幕末の動きに徳地と中岡慎太郎を重ねて徳地幕末維新歴史放談の会代表の山田文雄氏に語って頂きます。

参加無料
申込不要

平成30年

◆日時：10月7日（日）

10時30分～12時30分

◆場所：山口市立徳地図書館 視聴覚室

◆講師：山田 文雄氏

（徳地幕末維新歴史放談の会代表）

問い合わせ：山口市立徳地図書館

TEL 0835-52-0043

